

令和３年度
文京区学生と創る
アグリイノベーション事業
概要説明資料

令和４年３月29日（火）

盛岡市　玉山総合事務所　産業振興課

これまでの経緯と本日の成果報告会の趣旨

これまでの文京区学生と創るアグリイノベーション事業に係る経緯と本日の成果報告会の趣旨は以下のとおりです。

経緯

- ✓ 平成31年２月に東京都文京区と盛岡市とは，歌人の石川啄木の生誕と終焉の地を縁とした，友好都市提携を調印いたしました。
- ✓ これを契機に，より一層相互交流を促進する第一の事業として，本市玉山地域のの農業の高度化・高付加価値化を目的とした，区内４つの大学との産学官連携事業である「文京区学生と創るアグリイノベーション事業」を企画いたしました。
- ✓ 当初，令和２年度からの事業開始を予定しておりましたが，新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて１年間事業実施を順延し，令和３年度から連携を始動しております。

趣旨

- ✓ 事業初年度である令和３年度は，感染者数の動向を踏まえながら各大学の皆様には生産者様等を対象としたオンライン及び現地でのヒアリング等へ取組んでいただいていたところです。
- ✓ 今回の成果報告会では，各大学から令和３年度の調査結果を御報告いただくことで，関係者間の情報共有を図り，今後の円滑な調査活動に向けた相互交流の場としたいと考えております。



参考1：石川啄木本人の写真



参考2：姫神山から見た玉山地域・岩手山

文京区学生と創るアグリイノベーション事業の概要

① 文京区学生と創るアグリイノベーション事業について

② 盛岡市玉山地域の抱える農業課題について

③ 当事業において学生の皆様に期待すること

①　文京区学生と創るアグリイノベーション事業について



文京区学生と創るアグリイノベーション事業の事業スキームについて

当事業にて学生の皆さまの交通費及び宿泊を支援させていただくとともに，学習成果の実践の場として盛岡市玉山地域をご提供させていただきます。

1　事業概要

〇事業概要

文京区と盛岡市との友好都市提携を縁とした，盛岡市玉山地域の基幹産業である農業の高付加価値化に向けた産学官連携事業。

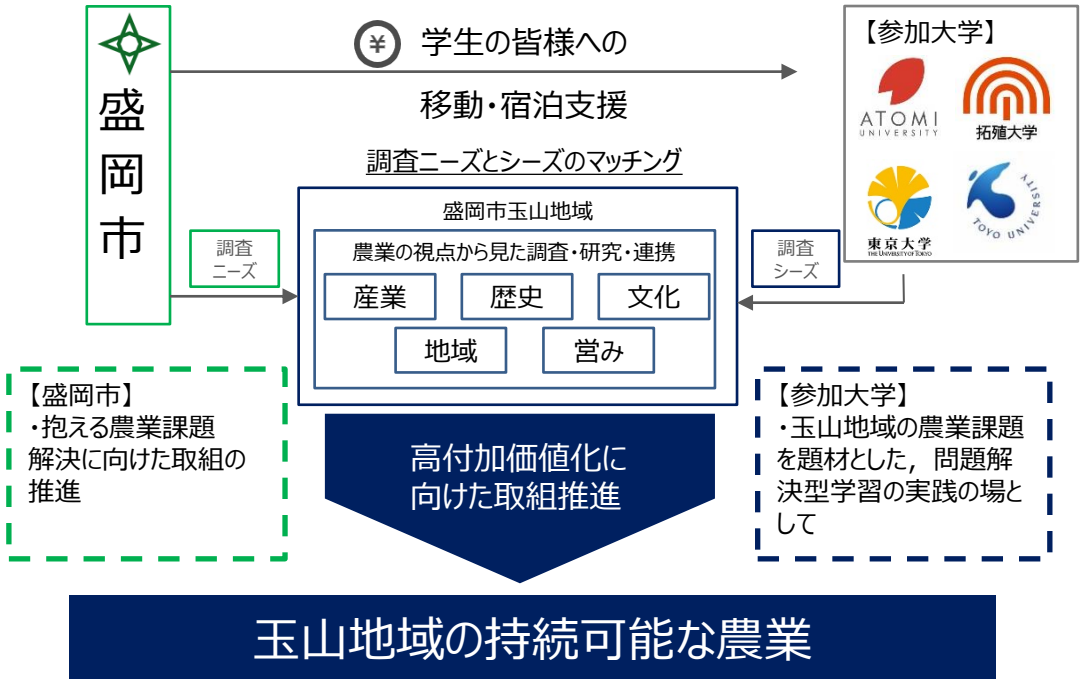
〇実施期間

令和３年４月１日～令和６年３月31日（３年間）

〇貴学への支援体制

学生の方々の交通費及び宿泊費については，
盛岡市が支援。
※食費や駅・自宅間の交通費等一部自己負担

2　参加大学・盛岡市の連携スキーム



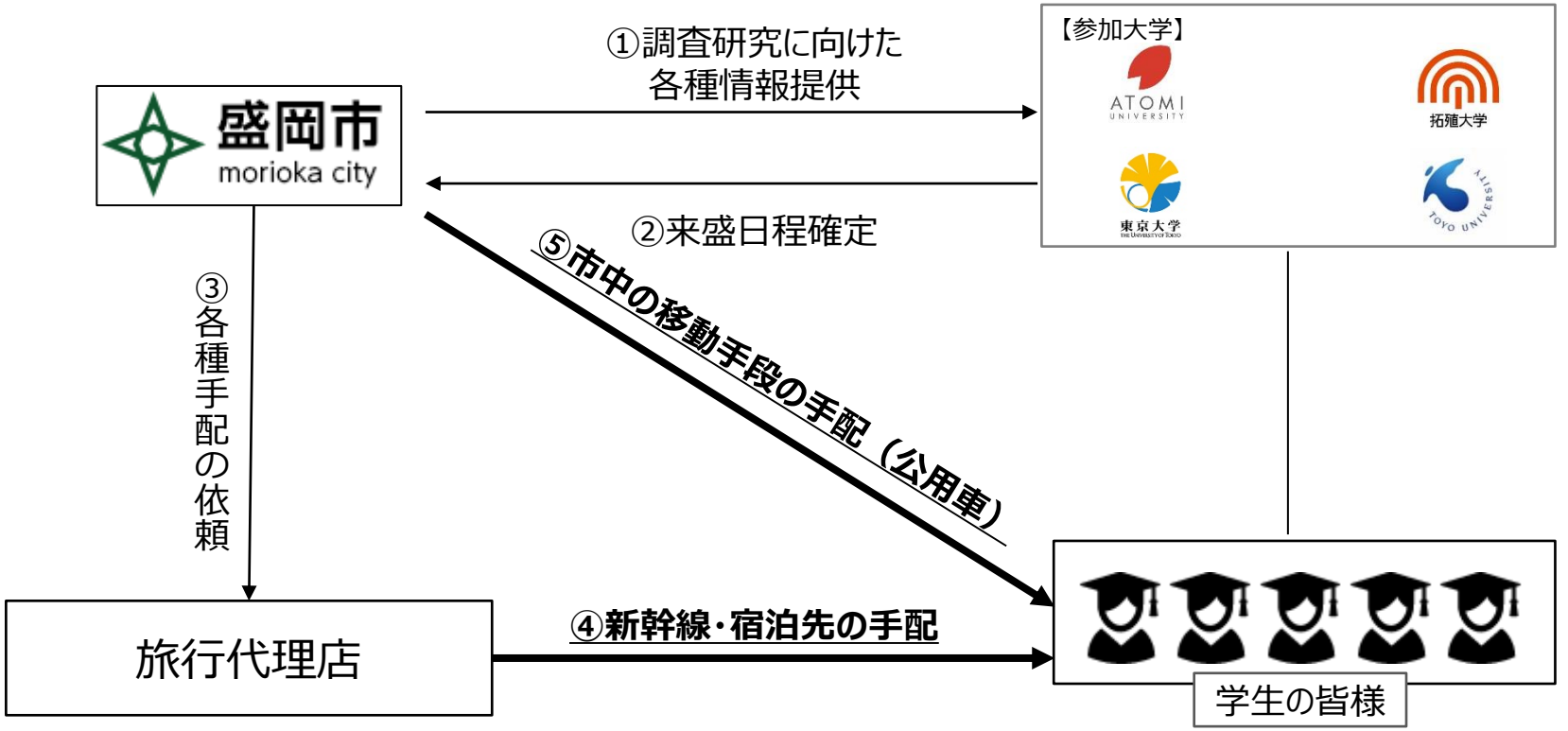
大学ごとの調査テーマについて

当事業へは文京区内４つの大学から学生の皆様に御参加いただき，各大学ごとに調査テーマを協議の上で選定し，調査・連携を進めているところです。なお，事業開始初年度である，令和３年度については，新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け，オンラインでの生産者様等へのインタビュー等を中心に，当事業に取組んでいただいております。

大学名（50音順）	参加学部	参加形式	調査テーマ
跡見学園女子大学	観光コミュニティ学部	ゼミ単位	地域コミュニティデザインの視点から見た，もりおか短角牛の現状と振興策の検討
拓殖大学	商学部・工学部	ゼミ単位	雁喰豆（黒平豆）の生産から販売までの一連の工程における課題解決に向けた取組の推進
東京大学	農学部	授業単位	玉山地域の農業課題分析と振興策の検討
東洋大学	経済学部	ゼミ単位	新規就農の農業経営体から見る，多角化経営の分析と将来展望について

盛岡市から学生の皆様への支援内容について

学生の皆様に盛岡市玉山地域へ来盛いただくにあたり，新幹線，宿泊経費及び市中の移動に対して支援させていただくとともに，充実した調査活動を行っていただくよう，可能な限り各種配慮をさせていただきます。



支援対象	➢ 文京区内にキャンパスを設置する大学に在籍する大学生及び大学院生が支援対象としております。 ➢ 事業参加は，跡見学園女子大学，拓殖大学，東京大学，東洋大学の計４大学なっております。
支援対象経費	➢ 東京駅・盛岡駅間の新幹線費用及び滞在中の移動・宿泊費に対する支援となります。 ➢ 視察先へは，こちらで用意する公用車にて移動することを予定しております。 ➢ 新幹線チケットは，来盛時期が確定次第，代理店より個別に郵送させていただく予定です。

成果報告会の位置付けについて

本日の「成果報告会」は，次の表の「最終報告」に位置付けられており，３月16日（水）の福島県沖地震の影響を受け，ウェブ会議ツールを使用したリモートでの開催となりました。

時 期	内 容	担 当	様 式
事業開始	・ 連携推進に必要な情報提供 （随時提供）	市	任意様式
仮説設計	・ 事前情報に基づく調査・連携に係る仮説構築	貴学	任意様式
	・ リサーチ設計・調査計画書作成	貴学	任意様式
中間報告 【文京区内のいずれか】	・ 調査状況報告 - 現在の調査状況 - 仮説の検証・修正 - 年度報告に向けたプロセス等	貴学	PowerPoint形式
最終報告 【参加大学・盛岡市】	・ 成果発表会報告書（発表用）	貴学	PowerPoint形式
	・ 成果報告書（公表用）	貴学	Word形式

年間スケジュールについて

以下のスケジュールを念頭に，参加大学の皆様と協議の上，当事業を進めてまいります。

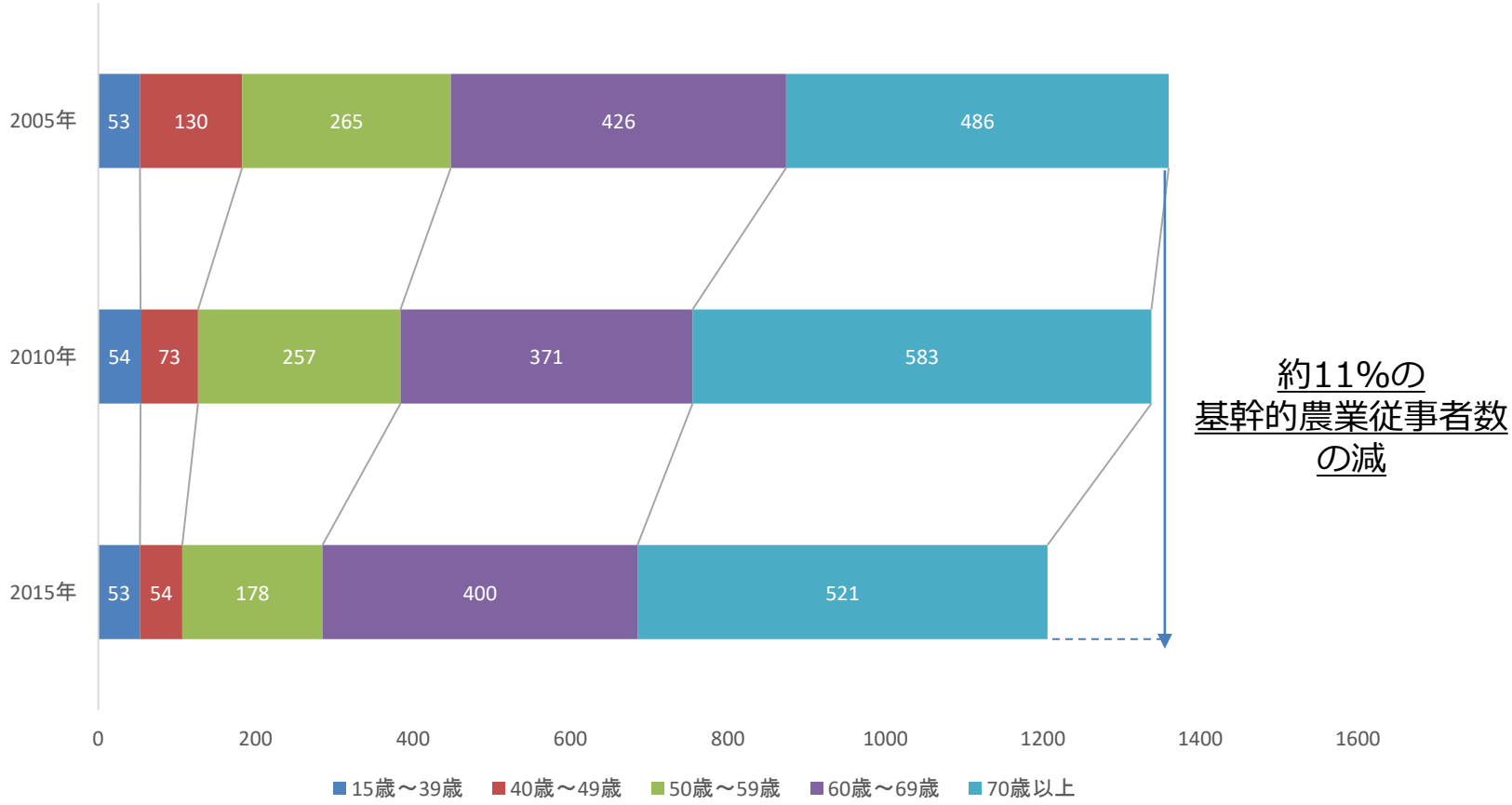
マイルストン	1年度目				2年度目				3年度目			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
・参加学生の対象者と人数の確定 ・来盛日程の確定	各種確定				各種確定				各種確定			
・初期仮説の構築 ・調査計画作成	・仮説構築 ・計画作成				・仮説構築 ・計画作成				・仮説構築 ・計画作成			
・現状に対する調査・分析		・現地調査 ・結果分析				・現地調査 ・結果分析				・現地調査 ・結果分析		
・課題の抽出と優先順位付け		・課題抽出 ・優先順位 ・課題設定				・課題抽出 ・優先順位 ・課題設定				・課題抽出 ・優先順位 ・課題設定		
・中間報告		報告会(予定)				報告会(予定)				報告会(予定)		
・次年度以降の計画策定			・計画策定				・計画策定					
・成果発表会 ・報告書作成				成果発表会				成果発表会				成果発表会
・次年度への引継ぎ				学生間の引継				学生間の引継				

②　盛岡市玉山地域の農業等の現状について



玉山地域の基幹的農業従事者数の推移について

2005年から2015年にかけて全体で約11%の主たる仕事として農業に従事される方が減少し，なかでも生産活動の中核を担う15歳から59歳までの層が約36%減少するなど，農業生産基盤の維持に向けて新規就農者の確保や生産性向上への取組が急務となっています。



POINT！

・基幹的農業従事者の減少により，農業生産基盤の持続可能性が棄損される危機に瀕している。

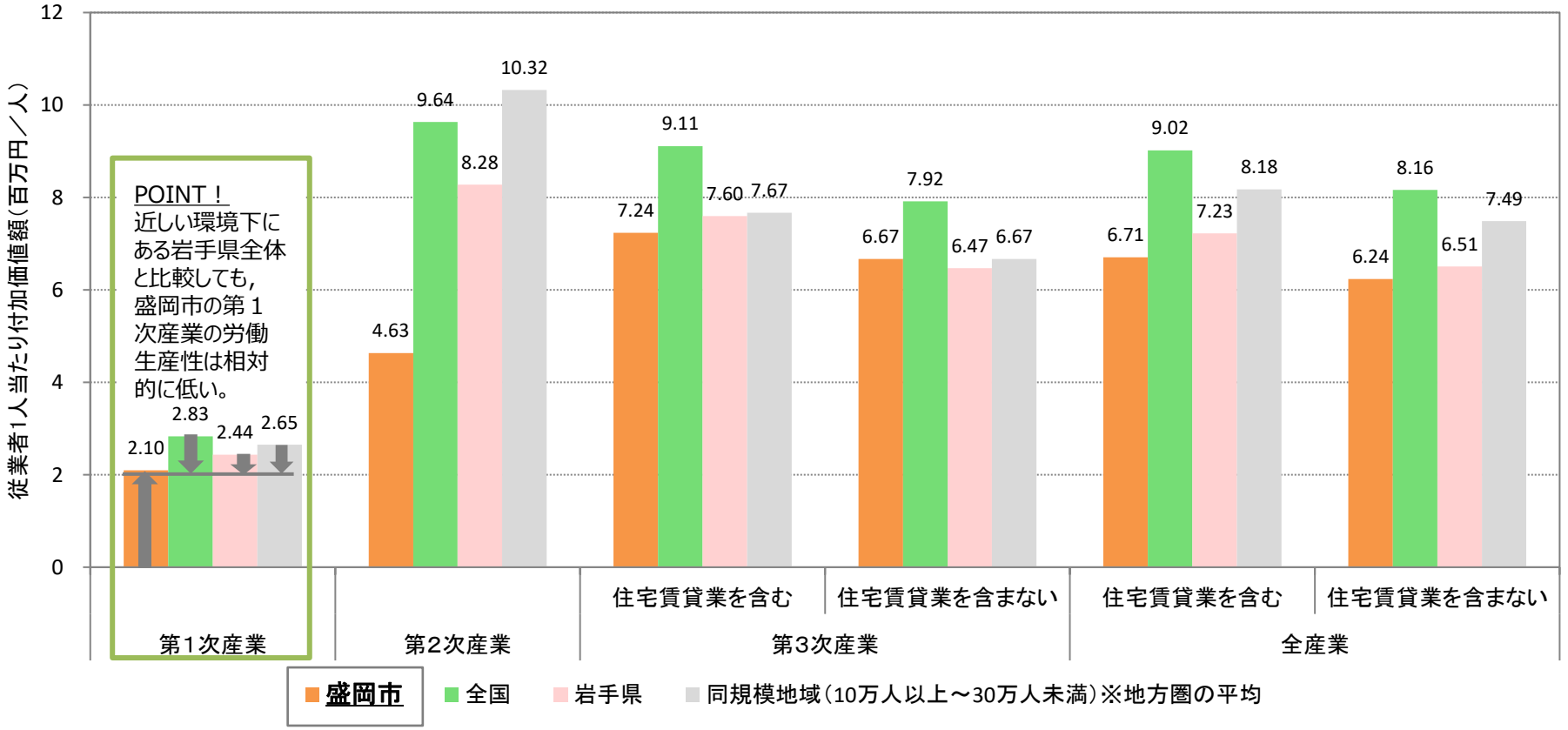
・後継者不足と著しい高齢化により，担い手不足だけではなく，耕作放棄地の増加等の問題も生じている。

出所：農林業センサス「年齢別基幹的農業従事者数（自営農業に主として従事した世帯員のうち仕事が主の世帯員数）」より産業振興課作成（2015，2010，2005年）

盛岡市の第１次産業における付加価値額（労働生産性）

盛岡市の第１次産業の付加価値額（労働生産性）は，全国，岩手県及び同規模地域と比較して相対的に低い傾向にあります。この状況を改善しなければ，農業生産者の生産にかける労力・尽力が適正に還元されず，生産意欲の低下や後継者不足に一層の拍車をかけるものと認識しております。

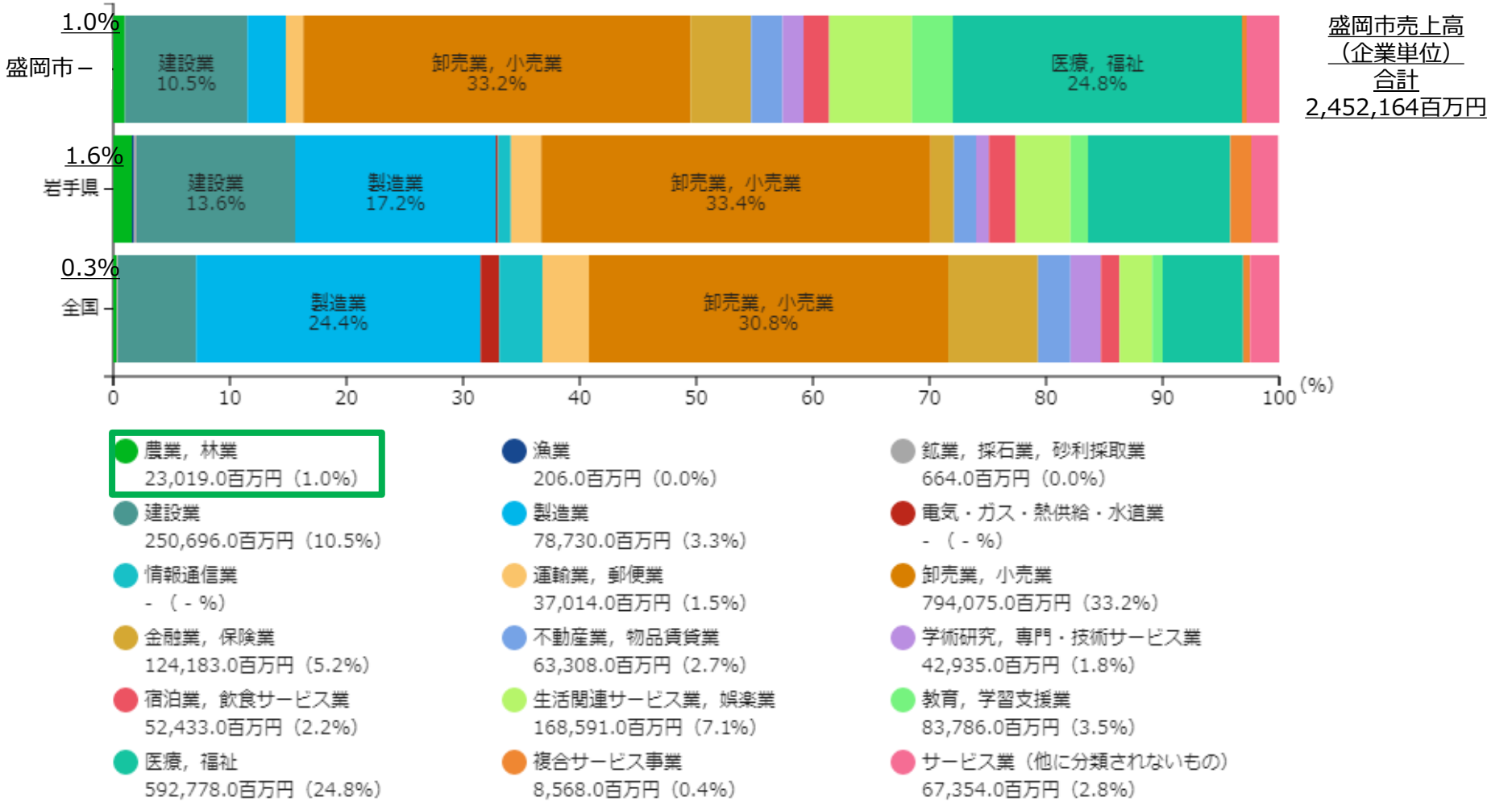
従業者１人当たり付加価値額（労働生産性）



出所：環境省「地域経済循環分析用データ（2015年版）」及び「国勢調査」より

盛岡市の産業構造について（2016年　売上高（企業単位））

第３次産業主体である盛岡市の産業構造の中で，農業・林業分野の売上高が産業全体の売上高に占める割合は約1.0%と，岩手県全体の平均と比較しても相対的に低い傾向にあります。しかしながら，盛岡市は県内最大の消費地であり，かつ，北東北３県の交通の結節点でもある特徴を生かして，玉山地域の農業の労働生産性向上や生産物の高付加価値化を実現することができれば，本市の農業は売上高の拡充ができるポテンシャルはあるものと認識しております。



出所：総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」再編加工

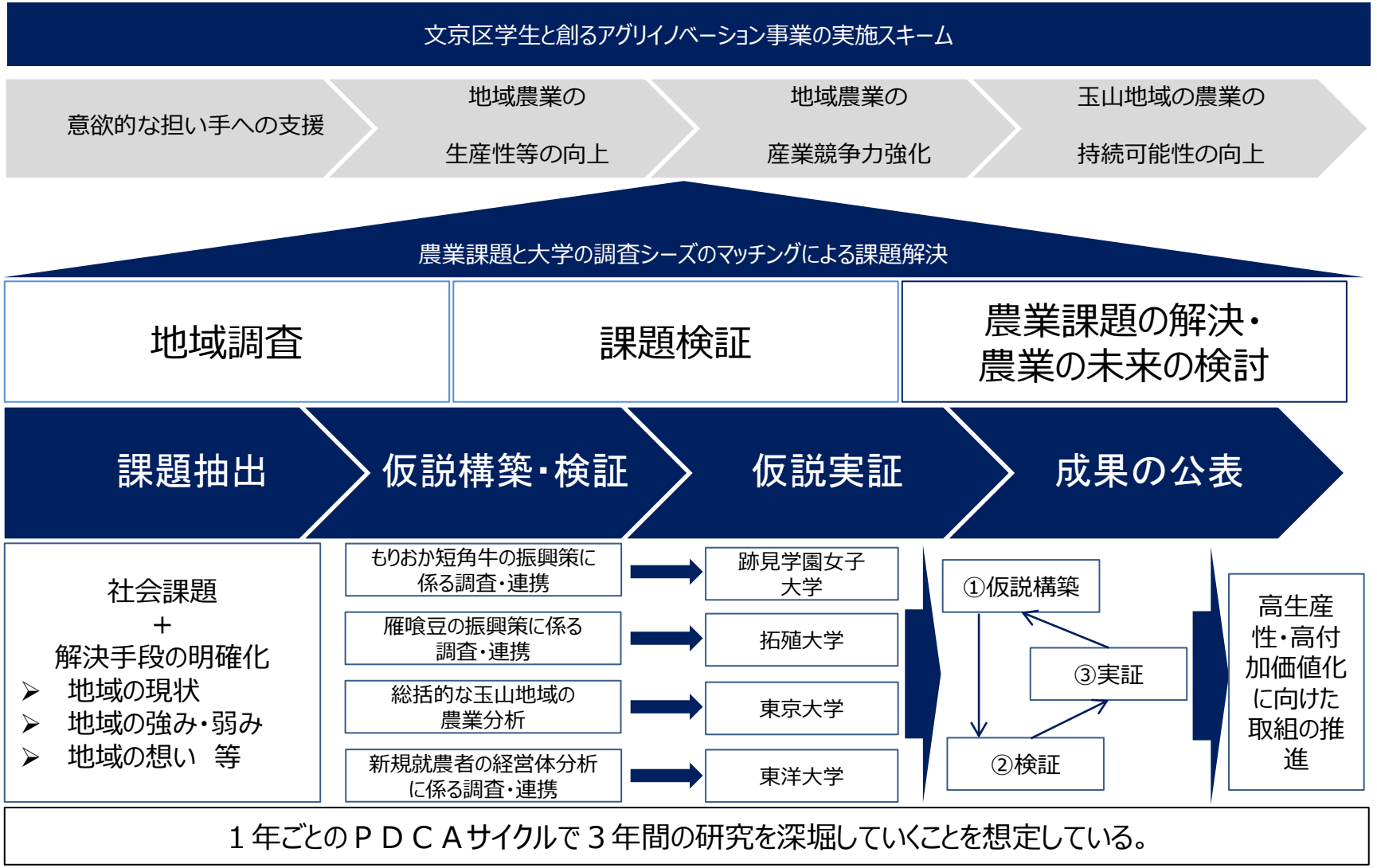
玉山地域の農業の抱える課題について

玉山地域は中山間地域に該当し，山間傾斜地が多く農業集約が困難なため，平地の農地と比べて農業生産性や農業所得が低い傾向にあります。今後も地域農業が生活基盤として存続し，農業が基幹産業として維持・発展していくためには，高付加価値化や労働生産性の向上に向けた取組をより一層推進する必要があります。

A 中山間地域という地域特性における課題	1	平地の農地と比較して，圃場が小区画・分散・多筆な傾向にあるなど条件的不利が多い。
	2	農業条件の不利性等から先進的技術の導入や農地集積化等の取組みのハードルが高く，農業生産性が低い傾向にある。
	3	基幹的農業従事者の高齢化率が平地の農地と比較し高い。 （基幹的農業従事者の高齢化率：平地　36%，中山間　45%，山間　51%）
B 産業構造的課題	1	第１次産業から第３次産業までの産業間連連携が乏しく，付加価値創出に向けた取組が不足している。
	2	人口に対する東京圏への転入超過割合がワースト１と，各産業の生産活動の中核を担う人材の母数が減少している。
	3	旧盛岡市域と旧玉山村域で所管する農協が異なるため，市全体として農業施策が２本立てとなってしまっている。
C 高収益化に向けた取り組みにおける課題	1	６次産業化による商品開発等，高収益化に向けて挑戦する意欲的な農業者はいるが，農作業と並行し取り組む時間的余裕がない・収益化が図れていない等の理由により，地域全体の取組みとして波及できていない。

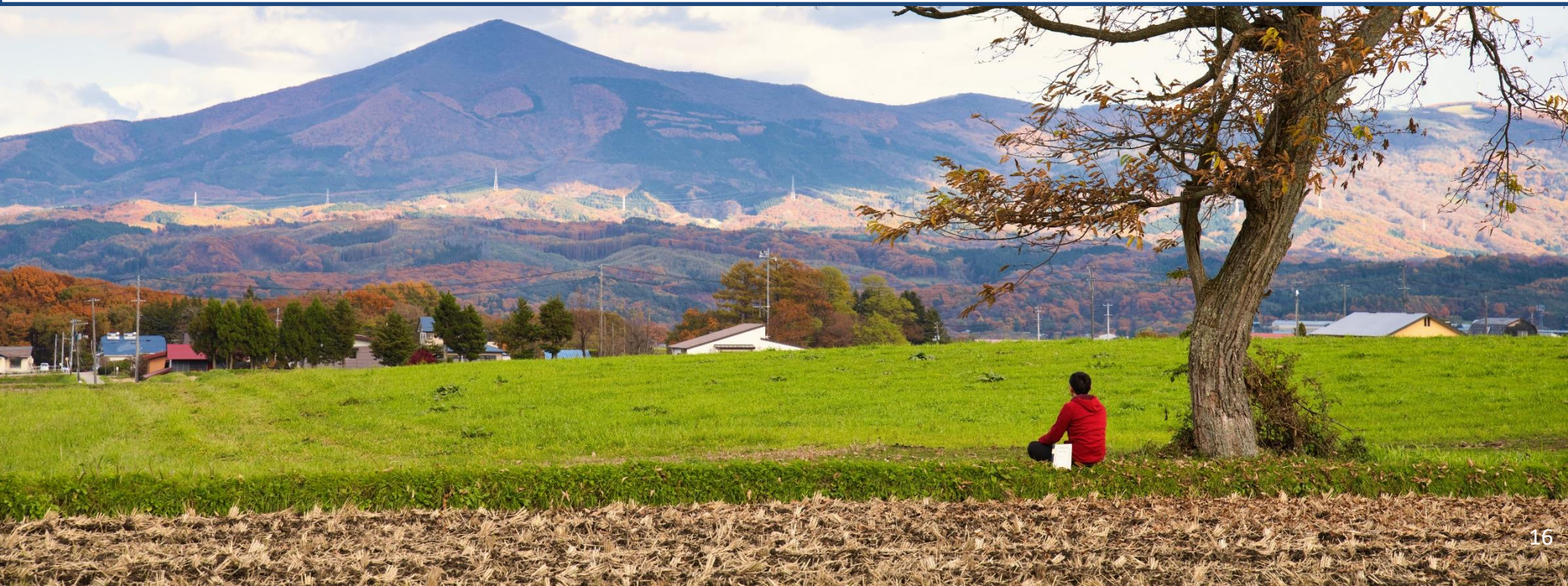
文京区学生と創るアグリイノベーション事業が玉山地域の農業に果たすべき役割

文京区内４つの大学との産学官連携事業にて，フィールドワーク等の地域調査や大学の有する専門的な知見から，農業課題の要因分析や課題解決手段の実現に向けた取組を通じて，玉山地域の農業の活性化を推進してまいります。



出所：産業振興課にて作成

③　当事業において学生の皆様に期待すること



当事業において学生の皆様へ期待すること

玉山地域が抱える農業分野の課題を題材として，これまでの学習成果の実践の場として実習・検証いただくとともに，地元関係者との積極的なコミュニケーションを通じて，地域農業の未来について地域の当事者が考える機会になればと思っております。

keyword
01
地域外からの視点

- ✓ 日本の最も大きな消費地である，東京都の消費者の視点から見た玉山地域農畜産物の価値の再定義。
- ✓ 他の産地と比較した場合の，玉山地域の農業課題の洗い出し。

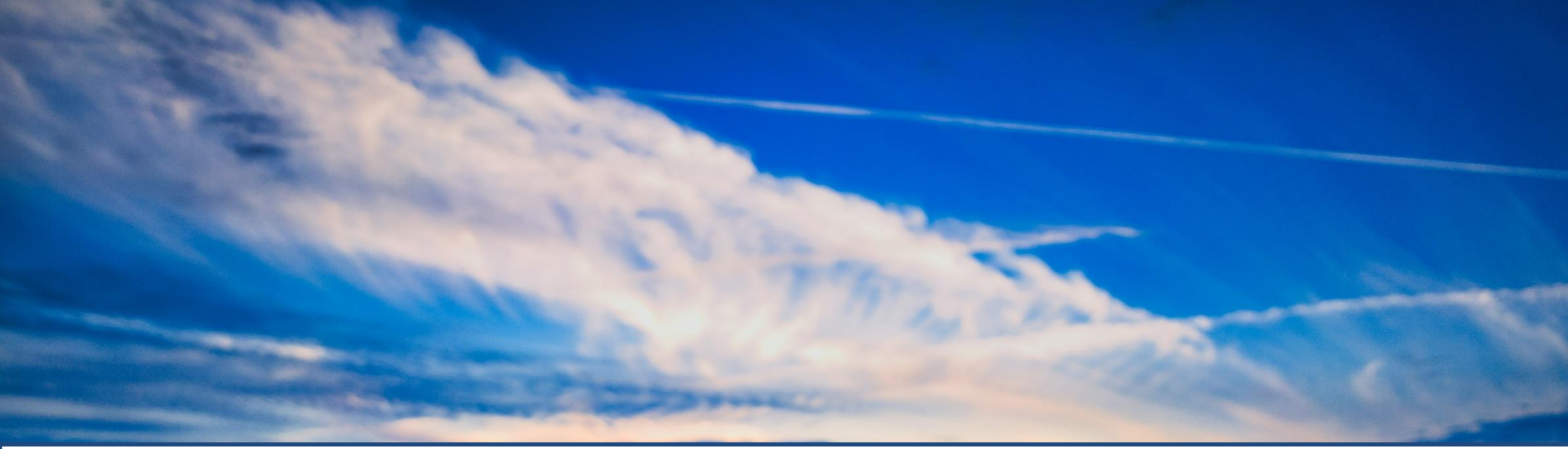
keyword
02
既成概念に捉われない自由な発想

- ✓ 既成概念に捉われない，学生ならではの自由な発想から得られる，玉山地域の農業への示唆。
- ✓ 学生とのコミュニケーションから得られる先端知識等の農業者への知的な刺激。

keyword
03
玉山地域への興味関心の醸成

- ✓ 当アグリイノベーション事業を通じて，玉山地域に対して興味関心を持っていただけたらと思っております。

出所：産業振興課にて作成



来年度も引き続き玉山地域にてお待ちしております！

